

2018~2019
職員部会ニュース

平成30年度2・3月
東京都公民館連絡協議会

発行：東京都公民館連絡協議会

会長：福生市

職員部会長：小平市 武井 豊

日時：原則毎月第3水曜日

会場：小平市中央公民館

メンバー：日野市（佐藤・大和田）

国分寺市（南波）・国立市（松田）

西東京市（三城）・福生市（松浦）

狛江市（内田）・東大和市（宮鍋）

昭島市（梶芳）・町田市（矢嶋）

小金井市（小磯）・小平市（寺本）

第10・11回職員部会

第10回職員部会では、東京都公民館研究大会課題別集会を振り返り、自分が担当した役割、グループ討議などについて、改善、反省、感想、気づいた点などを一人ひとり話していただきました。

次のような意見等が出されました。

- ・討議では市民の方と直接話せて良かった。
- ・職員が市民に関わっていくことが大切だという結論が出た。
- ・全体として良い内容だったのでもう少し時間が欲しかった。
- ・来年度も職員部会で課題別集会を担当するので、今年度の反省を活かして充実した内容にしたい。

第11回職員部会では、今年度を振り返って、改善、反省、感想、気づいた点などを一人ひとり話していただきました。

次のような意見等が出されました。

- ・今年はグループ討議を取り入れ、意見が出やすいよう工夫をした。
- ・年間スケジュールをあらかじめ立てておいたため、効率的に進められた。
- ・テーマの決め方（グループワーク）が良かった。
- ・他市の状況も知ることができ、大きな収穫になった。
- ・みんなから出た意見をまとめ、進行するのが良い勉強になった。
- ・今回得たものを自分の仕事で発揮したい。

今回も引き続き、職員コラム担当市のキャラクターを紹介します☆



小金井市のイメージキャラクターの「こきんちゃん」です。株式会社スタジオジブリの宮崎駿監督に描いていただきました。

成人学校「共働夢農園」野菜づくりコース

小金井市公民館緑分館 小磯 伸

小金井市公民館緑分館では、13種類の講座を実施しています。その中で担当している講座のうちの一つを紹介します。

小金井市公民館では、本館合わせた5館のうち3館で成人学校「野菜づくり講座」を実施しています。それぞれの講座名は、本館「菜園教室」、貫井南分館「江戸野菜に親しもう」及び緑分館「共働夢農園」とそれぞれ特色のある講座を実施しています。

共働夢農園は、公民館緑分館が農地を借用し、平成13年9月から管理・運営し、現在に至ります。

この講座は、「野菜の栽培作業を通して野菜作りの知識と技能を修得するとともに、収穫の喜びを享受し、合わせて健康の増進を図る。また、共働で行う作業を通して、参加者相互の交流を図り、その成果を地域社会に還元するとともに地域交流の活性化に寄与すること」を目的としています。

作業は、年間を通して毎週木曜日の午前中に講師が農業技術や知識を指導し、農作業を実施しています。毎月1回は、作業終了後、講師、運営委員及び職員で作業、行事及び研修の打合せを行い、共働夢農園を運営しています。今年は、4月5日に野菜づくりコースの開講式を迎え、現在に至っています。

受講者の顔ぶれも昨年度から引き続き応募されている方、新規に応募された方など少し受講者の構成が変わりました。受講者は、28人（経験者22人・新規6人）で60代が16人と過半数を占めています。

作業は、受講者を経験別に3班に分けて、経験者を各班の運営を行う運営委員として協力しながら野菜を育てています。春・夏は、26種類の野菜の栽培を行い、秋・冬は、23種類の野菜の栽培を行っています。野菜の種類が多いため、連作障害をおこさないように講師と運営委員が畑を効率良く使用する作付けプランを考えています。



また、農園の周囲の環境は、今までは畑や雑木林等の非住居系の環境でしたが、4月には、現在、建設中の戸建て住宅等が完成するため、農作業を行うには、やりにくい環境となります。職員部会は、公民館の勤務年数が長い職員が多く、公民館の勤務が初めての私にとっては、他市との情報交換等ができるため参考になります。今後もよろしくお願いいたします。

職員部会長として1年を振り返って

小平市立花小金井北公民館 武井 豊

私は一昨年(2019年)の11月から職員部会に出席させていただいています。昨年度は部会に出席し、意見を述べるだけで良かったのですが、今年度は職員部会長となり、毎月の職員部会の開催、職員部会研修会の開催、東京都公民館研究大会での課題別集会の企画運営など、会議を運営する立場になり、責任の重さを痛感しました。

その他に年に6回の役員会、同じく年に6回の企画委員会への出席がありました。いずれの会議もだまって座っているだけの会議は1つもなく、職員部会の報告や意見などを求められるため、緊張して臨みました。まして、毎月の職員部会では司会進行や議題の説明を行い、いかにしたら、出席者の発言を引き出せるか、うまく取りまとめられるかに十分気を配りました。その1つの方法として、グループワークを取り入れました。グループのメンバーを毎回入れ替えることにより、職員同士の交流や情報交換を行えるように配慮しました。

研修会や課題別集会のグループ討議では部会のメンバーに進行役を担っていただき、会議の運営やグループ討議を通じてファシリテーションがいかに大事であるかを身にしみて感じました。

職員部会長は委員部会長とは違い、別に事務局がある訳ではなく、事前の開催通知の送付、次第や配付資料の作成、当日の会場設営、司会進行、議題の説明、取りまとめなど部会長がほとんどひとりでやらなければなりません。部会長が休んではみんなに迷惑をかけることになるため、体調管理には十分気を配りました。しかし、東京都公民館研究大会直前の1月はあまりの忙しさで39度近くの高熱が出てふらふらの中、職員部会を行いました。翌日に医療機関で診察を受けたところ、インフルエンザと診断され、1回だけ企画委員会は欠席しました。

1年間、小平市公民館の代表として恥ずかしくないよう一生懸命に取り組んできました。多忙な1年間でしたが、無事に職責を全うできたのも職員部会のメンバーの大きな支えがあったからです。ご支援に感謝いたします。来年度は職員部会からは外れますが、陰ながら応援していきたいと思えます。大変にありがとうございました。

